

## 総合科学型プロジェクト提出に当たって ご留意いただきたい事項

「研究内容及び水準」及び「研究の社会的効果」の判定は、対象組織における研究活動の状況を明らかにすることが目的です。平成12年度から始まった試行段階における分野別研究評価における他分野では、組織構成員全員から個人別研究活動判定票を提出いただいています。平成14年度着手分の総合科学分野では、自己評価実施要項に言及したように「総合科学型プロジェクト」に絞りました。

分野別研究評価の対象となる「研究活動」とは、狭義の研究活動にとどまらず、技術の創出、学術書、教養書や教科書の出版、政策形成等に資する調査報告書の作成など教員の創造的活動全般を指しております。また、これらの研究活動の状況は、学問的な内容及び水準のみならず、地域との連携・協力、新しい文化創造への寄与、知的財産の形成など多様な視点から判定することとなっております。

以上の点をご理解いただき、総合科学型プロジェクトの提出に当たっては、対象組織の多彩な研究活動の状況が判断できるように、件数や内容をご配慮いただきたくお願いいたします。

### 1. 総合科学型プロジェクトの例

- ・科学研究費 COE のテーマ
- ・21 世紀 COE のテーマ
- ・日本海域研究（富山大学）
- ・角間の里山自然学校（金沢大学）
- ・人間と環境の新しい関係の模索「人環フォーラム」の発行（京都大学）
- ・巖島のアイデンティティ：共同研究による総合科学の可能性の模索（広島大学）
- ・海域、湖水域の環境変遷に関する研究（愛媛大学）
- ・東アジアと日本：交流と変容（九州大学）

### 2. 提出する総合科学型プロジェクト数の目安

- (1) 5 件以上
- (2) 構成教官 15 ～ 20 人当たり 1 件以上